

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
 【発行日】平成22年5月6日 (2010.5.6)

【公開番号】特開2009-104245(P2009-104245A)  
 【公開日】平成21年5月14日 (2009.5.14)  
 【年通号数】公開・登録公報2009-019  
 【出願番号】特願2007-273045(P2007-273045)  
 【国際特許分類】

G 0 6 T 7/00 (2006.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 T 7/00 3 0 0 E

G 0 6 T 1/00 5 0 0 A

【手続補正書】  
 【提出日】平成22年3月18日 (2010.3.18)

【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 5 1  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】

【 0 0 5 1 】

このようなステップ S 1 0 2 と S 1 0 3 の処理と並行して、ステップ S 1 0 4 において、特徴点識別能力値演算部 3 3 は、モデル画像 2 1 - 1 乃至 2 1 - N のそれぞれから、特徴量画像 4 1 - 1 乃至 4 1 - N をそれぞれ生成する。

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 5 3  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】

【 0 0 5 3 】

ステップ S 1 0 5 において、特徴点識別能力値演算部 3 3 は、モデル画像 2 1 - 1 の各特徴点（ステップ S 1 0 2 の処理で抽出されて、ステップ S 1 0 3 の処理で特徴量記述化された各特徴点）のうちの、識別能力を演算したい P 個（P は、ステップ S 1 0 2 の処理で抽出された個数以下の整数値）の特徴点についてそれぞれ、関連画像を生成する。

【手続補正 3】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 1 1 1  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】

【 0 1 1 1 】

ステップ S 1 5 1 - 2 において、関連画像生成部 5 2 は、モデル画像 2 1 のベース点  $b_n$  について、クエリ画像 2 2 の特徴量画像の各画素値（即ち、各画素の特徴量）と、ベース点  $b_n$  におけるサポート点  $s_{nm}$ （ $m$  は、1 以上の整数値）の各特徴量とのマッチングをそれぞれ行うことで、 $m$  個の関連画像を生成する。さらに、関連画像生成部 5 2 は、サポート点  $s_{nm}$  の存在位置（関連画像の対応画素位置）を、ベース点  $b_n$  の存在位置（関連画像の対応画素位置）にシフトすることで、ベース点  $b_1$  乃至  $b_4$  のそれぞれについて、図 1 5 の S 1 5 1 - 2 の枠内に示されるような  $m$  個のサポート点シフト関連画像をそれぞれ生成する。